

# FTD登録中にVPN接続を切断するFMC自動設定導入のトラブルシューティング

## 内容

---

---

## お問い合わせ内容

Firewall Threat Defense(FTD)デバイスを新しいFirewall Management Center(FMC)環境に移行する際、FTDの登録後すぐにFMCが自動的に設定を導入しました。この自動導入は、手動によるVPNポリシーの再接続と証明書の設定が完了する前に発生し、Secure Client/AnyConnectユーザのVPN接続が失われ、予定外のサービス停止が発生しました。

## 環境

- Secure Firewall Management Center(FMC)の略。
- セキュアクライアント/AnyConnect VPNサービス用に設定されたFTD。
- 既存のFMCから新しいFMC環境への移行シナリオ

## 解決策

ユーザは次の手順を実行して、接続に関する差し迫った問題を解決しました。

### ステップ1：デバイス設定の再設定

ユーザは、元のデバイス設定と、自動導入時に上書きされた稼働中のVPN設定を再設定しました。

### ステップ2：ポリシーを再適用する

新しいFMC環境でVPN機能が復元され、正しく設定されるように、適切なポリシーが手動で再接続されました。

## 原因

新しいFMCへのFTD登録中の自動展開動作は、不具合ではなく期待される機能です。手動による導入制御に対するユーザの期待はドキュメントの解釈に基づいていましたが、システムのデフォルトの動作では、デバイスの登録時に自動的に設定が導入され、FMC管理環境全体でポリシーの一貫性が確保されます。



ヒント：デバイステンプレートを使用して、FTD登録時にDay 2の設定変更を適用することを検討してください。デバイステンプレートはFMCバージョン7.6.0で導入されました。

---

## 関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。